

本條秀太郎ら
趣向の三味線
21日公演



民謡から端唄まで幅広い分野の
三味線音楽を追求する本條秀太郎
|| 写真 || とその一門が二十一日午
後零時半 (昼の部) と同四時半 (夜
の部)、東京・紀尾井小ホールで「第
十三回俚奏楽研究会」公演を開催
する。俚奏楽は、作曲家でもある
秀太郎が創始した流派で、新しい
三味線音楽として広がっている。

今回の公演は、秀太郎の唄と三
味線で、民謡をモチーフにした
「花の江島」 (昼の部)、「みち
のく三番叟」 (夜の部)、三味線
で吉原の四季の情景を表現する器
楽曲「女人角田」にょにんすみた「たゆたう」
(昼夜)などを披露する。

傳燈樂舎 || 電 03・3303・5

180。